

# 仙台市議会 市政活動報告 市民フォーラム仙台

令和3年 議会報告 冬号

仙台市議会議員(青葉区)

郷古正太郎

発行：市民フォーラム仙台 編集：郷古正太郎 〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1



## 令和3年第3回定例会が終わりました。

今議会では補正予算2件を含む20件の議案に加え、4病院再編方針を巡った情報提供を県に求める決議案等13件の承認・可決がありました。私からは地域課題解決や、引き続き当選以来取り組んでいる「子育てしやすい街づくり」や「自分らしくイキイキと生活できる街づくり」の視点から本会議と決算審査等特別委員会にて大綱7項目の質問を致しましたのでその抜粋を本紙でご報告させていただきます。今後も初志貫徹で市政発展のために力を尽くしてまいります。

### プロフィール

妻・娘(4歳)と川平在住。泉ヶ丘幼稚園・仙台市立中山小学校・中山中学校(バレー部)宮城県立工業高等学校(バレー部副主将)卒業。5年の地元工場勤務・在職中に東北学院大学経済学部入学、在学中に営業企画職を経て衆議院議員郡和子(現仙台市長)秘書、在職中大学卒業。市長選挙後から参議院議員桜井充第1秘書。2019年市議会議員選挙当選(1期目)

- 21年宮城大学 大学院博士前期課程に入学し、子育て環境と教育環境の研究を行っております

**所属** 市民フォーラム仙台 総務財政委員会(副委員長)

仙台青年会議所(資質向上委員会副委員長) 青葉区少年野球連盟(顧問) 青葉消防団荒巻西分団(青葉消防団広報企画委員)

**趣味** 子どもと遊ぶこと(最近はカルタが大好き)バレーボール・サッカー観戦(ベガサポで元太鼓10年)ラーメン食べ歩き

## 第3回定例会の質問要旨

### 本会議 妊産婦の支援について

出産の費用が健康保険からの一時金では足りない場合も少なくない。本年4月1日までは新生児臨時特別給付金があったが、それも期限が切れてしまった。他都市ではお祝い金やお祝い品制度を創設している自治体もある。本市も経済的支援に資する制度を作るべきではないか。

#### 答弁 子供未来局長

健康保険等から支給される出産一時金では賅えない場合もあり、一定の自己負担が発生しているものと承知している。出産や子育てに対する経済的な不安に対し、子育てしやすい環境づくりの一環として、どのような支援ができるのか、検討してまいります。

### 学校現場におけるオンライン授業の活用と残された課題について

オンライン授業は感染症対策だけでなく様々な問題にも応用できる手法であり、学び方の多様性や学びを止めない環境整備の面から見ても必要である。1年間で端末が用意され、スピード感は評価をするが、残された課題を着実に解決するために市長の強いリーダーシップを求める。

#### 答弁 市長

感染症の拡大や災害などにより長期間休校する場合など、オンライン授業は有効な学習支援の一つ。教育委員会からは様々な課題も見えてきたと報告を受けた。研修などにより、教員のスキル向上も図ってきたが、より一層の向上が必要であるとの声もある。実態を把握しながら課題の解消に努め、緊急時などでもオンラインを活用し、子どもたちの学びが確保されるよう進めたい。

### 人流抑制施策と飲食店の方々へのメッセージ

飲食店の時短要請や休業要請が長期化しているが、また感染が増えた場合、更なる要請するという流れになっているのはあまりに酷である。飲食店からは協力してもらえらるための行政の姿勢を指摘をされることも多い、飲食店へ市長からメッセージを求める。また、飲食店以外の人流抑制施策も求める。



**答弁 市長**

現在、新規感染者の数が減少に転じており、多くの飲食店の皆様のご理解とご協力によるものと、深く感謝を申し上げます。飲食店街は賑わいの拠点として、本市の大きな魅力の一つであり、まちの活力の源泉となっている。食文化を支えておられる皆様へのできる限りのメッセージとして、事業継続支援や安心して営業いただける環境整備など、全力で支援してまいります。

**答弁 危機管理局長**

仙台市産業振興事業団内に「仙台テレワークサポートデスク」を設置し、地元中小企業におけるテレワーク導入支援に取り組んでいる。このような取り組みを継続、発展させ、各事業所でできる限り出勤者の抑制につなげ、感染拡大防止と経済活動の両立を目指す。

〔等大綱3点15の項目を質問〕

**決算審査等特別委員会**

**多国籍化する保育環境への支援について**

多国籍化しているような保育園では、申し送りなどコミュニケーションの難しさがある。本市では保育でよく使う言葉の翻訳シートが存在し、更に面談の時など通訳を派遣できる制度があるが、現場の保育士の方々はその存在を認識していないケースも多い。これらの広報をしっかり行い、更に翻訳シートにおいては保育部の知見を更に活用し内容の拡充を求めたい。

**答弁 幼稚園・保育部 運営支援課長**

仙台市観光国際協会で、本市と協力し日常の保育現場で活用できる会話集を5か国語で作成しているが、今後内容の充実に向け、連携を図ってまいります。同協会では、入所説明会や面談など、保護者の方々が、利用できる「コミュニティ通訳サポーター派遣」事業もある。これらの活用により保護者が円滑にコミュニケーションを図れるよう周知に努める。

**フレイル予防**

※フレイルとは加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能等)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態

フレイル予防の問題は要支援1・2の方が使えるメニューを知らない、または自分が該当だと分からないケースもある。本市はフレイル予防キャラバン隊を結成し、広報啓発をしている、各区各所の地域包括支援センターの理解と協力を得ながら地域のスーパーなどで波及させることが、元気応援教室も含め本市のフレイル予防につながると考える、所見を伺う。

**答弁 保険高齢部 地域包括ケア推進課長**

フレイル予防キャラバンは先日第1回目を実施し、ご自身の状態を客観的に把握する良い機会になったとのことご意見を頂いたほか、地域包括支援センターから、地域の事業者等との顔の見える関係作りが進んだとの意見を頂いた。関係各所と連携しながら、地域の実情に応じフレイル予防の普及啓発を進めていくことが重要。これまで地域包括支援センターが培ってきた地域資源との協力関係を活かし、フレイル予防の普及啓発が進むよう取り組んで参りたい。

〔大綱4点を質問〕

あなたの声から  
勉強させていただきます!!

仙台市議会議員 ごうこ正太郎  
**市政広聴シート**

お名前	ご住所  TEL - -
-----	--------------------

お困りごと ※いつ頃から、何がどの様に、など詳しくお書きいただければ幸いです。

**FAX.022-303-8832**

いただいた情報をもとに調査し、  
地域の問題解決に生かしてまいります。